

2027年度

青山学院大学

大学院学生募集要項

教育人間科学研究科

博士前期課程

心 理 学 専 攻
〔臨床心理学コース〕

社会人入試

一般入試(秋)・(春)

学内進学者選抜試験(秋)・(春)

分冊版

青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、
神と人にとり仕え社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おのおのの立場において、時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

大学院の目的

青山学院大学大学院は、キリスト教精神に基づき、高度かつ専門的な学術の理論及び応用を研究、
教授し、その深奥を究め、もって人と社会に奉仕し、文化の進展に寄与することを目的とする。

心理学専攻の教育研究上の目的

心理学専攻では、博士前期課程においては、心理学に関する専門家としての基礎的学識と研究能力を養成するとともに、倫理観の熟成を伴った専門的かつ実践的な知識・技能の獲得を支援し、社会への多様な貢献を図ることを目的として研究指導を行う。博士後期課程においては、心理学に関するいっそう高度の専門的な学術研究をし、研究の成果を国内外に発表するとともに学位論文を仕上げ、実践的素養をあわせ持つ優れた研究者として、国内外の大学、研究機関等で活躍できる人材を育成することを目的とする。

心理学専攻博士前期課程

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

知識・技能

- ・ 心理学研究に不可欠な、専門的基礎知識、語学力を身につけている。

思考力・判断力・表現力

- ・ 心理学研究遂行に必要な倫理的判断力、思考力および表現力を身につけている。

意欲・関心・態度

- ・ 心理学に関する専門家として社会へ貢献する目標を持っている。
- ・ 本専攻の教育課程および教育・研究の指導体制に従って学術の研究を進め、それぞれの修学目的を達成する見込みがある。
- ・ 他者と協同して教育・研究・実践にあたる。

合否判定の方法および基準

入学志願者が本専攻での学修において求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力、意欲・関心・態度等を有しているかを、出願時の提出書類および筆記試験・面接試験の結果から総合的に評価・判定する。

- 教育人間科学研究科および心理学専攻のディプロマポリシー（修了認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）は以下の本学ホームページにてご確認ください。

<https://www.aoyama.ac.jp/faculty/ephs/>

目 次

青山学院教育方針、青山学院大学の理念、大学院の目的	1
心理学専攻の教育研究上の目的、心理学専攻博士前期課程のアドミッションポリシー、 合否判定の方法および基準.....	2
目次	3
沿革、役職員、学位	4
一般的注意事項、授業実施キャンパス、授業時間について	5

教育人間科学研究科《入試共通事項》

募集人員、出願手続、出願書類、入学検定料	6
コンビニ端末での入学検定料支払方法	8
クレジットカードでの検定料支払方法	9
願書受付期間、試験についての注意事項、試験実施日、 合格発表についての注意事項、合格発表日	10
入学手続、「入学辞退願」の提出について	11
青山学院大学大学院特別給付奨学金	12
学費等	13
不正行為について.....	14

博士前期課程 心理学専攻〔臨床心理学コース〕

教員組織	15
＜社会人入試＞ 出願資格	17
試験科目・試験時間割	18
＜一般入試（秋）・（春）＞共通 出願資格	19
試験科目・試験時間割	20
＜学内進学者選抜試験（秋）・（春）＞共通 出願資格、試験科目・試験時間割	21

沿革

- 1958 年 4 月 文学研究科心理学専攻「修士課程」設置
- 1963 年 4 月 文学研究科教育学専攻「修士課程」及び「博士課程」設置
- 1974 年 4 月 文学研究科心理学専攻「博士課程」設置
- 1984 年 4 月 大学院学則を改正し、「修士課程」を「博士前期課程」に「博士課程」を「博士後期課程」に変更
- 1994 年 4 月 文学研究科教育学専攻博士前期課程及び心理学専攻博士前期課程に授業科目昼夜開講を実施
- 2009 年 4 月 文学研究科教育学専攻及び心理学専攻（各博士前期課程及び博士後期課程）を改組し、教育人間科学研究科（教育学専攻及び心理学専攻（各博士前期課程、博士後期課程））を設置

役職員

学 長	工学博士	稲 積 宏 誠
教育人間科学研究科長	修士(教育学)	野 末 俊比古
教育学専攻主任	博士(教育学)	山 本 珠 美
心理学専攻主任	博士(教育学)	坂 上 裕 子

学位

教育人間科学研究科

教育学専攻	修士（教育学）	博士（教育学）、博士（学術）
心理学専攻	修士（心理学）	博士（心理学）

一般的注意事項

二重学籍等

本学学生は、他大学大学院及び本学の他研究科又は他専攻、並びに他大学および本学の学部と併せて在学することはできない。ただし、特段の事情がある場合には、当該研究科教授会の議を経たのち、学長の承認を得てこれを許可することがある。

また、他大学大学院を修了又は修了見込の者は、成績証明書及び修了証明書又は修了見込証明書を提出のこと。

出願書類への虚偽の記載や証明書等の偽造が確認された場合は、入学試験の結果を無効とし、入学後であっても遡って入学の資格を取り消すことがあります。その場合、提出された書類およびそれまでに納入された費用については返還しません。

1. 本大学院の授業は、青山キャンパスで実施します。
2. 心理学専攻博士前期課程は昼夜開講制ですが、夜間や土曜日のみの履修では、本課程を修了することはできません。
3. 障がいや疾病、怪我などにより受験及び修学上の合理的配慮が必要な場合、「障がいのある学生の受入れ方針」に基づき、受験時に合理的配慮を提供します。合理的配慮を希望する方は、出願期間前に学務部教務課教育人間科学研究科担当に問い合わせてください。なお、場合によっては健康診断書等の提出を求めることがあります。
4. 本大学院では既に他の大学院で修得した単位を本学の単位として認定する制度がありますので、希望者は申し出てください(ただし、入学年度の4月初頭に限りです)。
5. 卒業見込みで出願していた者で、2027年3月末日までに卒業できなかった場合は、入学資格を満たせなかったこととなりますので、入学手続を完了していても本大学院に入学することはできません。
6. 受験、入学手続などに関する問い合わせは、学務部教務課教育人間科学部大学院事務[直通03(3409)9528]にしてください。ただし、可否に関する問い合わせには一切応じません。
7. 教育職員免許状や各種資格(司書教諭、司書、社会教育主事、学芸員)の取得に関する不明点については、出願前に教職支援センター[直通電話 03(3409)9634]に問い合わせてください。
8. 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験者への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。
9. 年末年始期間(2026年12月23日～2027年1月7日)は、出願に関する各種問い合わせについては対応できませんのでご注意ください。
10. 入学試験に関するお知らせは以下本学大学ホームページにてお知らせいたします。

<http://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/>

授業実施キャンパス

授業は、青山キャンパス(東京都渋谷区渋谷4-4-25)で実施します。

授業時間(授業科目配置時間帯)について

時 限	第1時限	礼拝	第2時限	昼休み	第3時限	第4時限	第5時限	第6時限
時 間	9:00 ～ 10:30	10:30 ～ 11:00	11:00 ～ 12:30	12:30 ～ 13:20	13:20 ～ 14:50	15:05 ～ 16:35	16:50 ～ 18:20	18:30 ～ 20:00

2027年度 教育人間科学研究科 学生募集要項

《入試共通事項》

募集人員

博士前期課程

心理学専攻 [心理学コース・臨床心理学コース] を合わせて 6名*

*〈社会人入試〉および〈一般入試(秋)・(春)〉、〈学内進学者選抜試験(秋)・(春)〉を含む

出願手続

1. 出願は、**すべて郵送受付とします。**
出願の際は、出願書類および入学検定料の振込通知書を封筒に入れ、本学所定の出願用封筒表紙を封筒に貼付のうえ、郵便局窓口で簡易書留・速達郵便扱いの手続きをして郵送してください。
2. 出願受付後、受験票を本人宛にお送りいたします。
受付事務・郵便事情等により受験票の返送が多少遅れることがあります。なお、入学試験日の3日前までに受験票が未着の場合は学務部教務課教育人間科学部大学院事務に問い合わせてください。
3. **一旦受け付けた出願書類、入学検定料は返還しません。**
4. 書類・入学検定料不備のものおよび受付最終日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
5. 国による大学院修士段階における「授業料後払い制度」の利用を希望する方は、出願期間中に授業料納付猶予手続きを行ってください。詳細は14ページ掲載の申請要項のURLもしくはQRコードをご参照ください。※外国人留学生（在留資格が「留学」の方）は申請対象外です。

出願書類

1. 入学志願票(カラー写真貼付) 本学所定用紙<様式①>-1、<様式①>-2* *志願者自身が作成した文章で提出してください。人工知能等が自動作成した文章や他者が作成した文章での提出を禁じます。
2. 写真票・宛名ラベル用紙 (本学所定用紙)
必要事項を記入のうえ写真票・宛名ラベル用紙をそれぞれ切り取り線で切り離して提出してください。
宛名ラベル用紙には送付先住所・氏名・志願研究科・専攻を明記してください。(受験番号は記入不要) 受験票送付および合格者受験番号一覧送付時、この宛名ラベル用紙を使用して郵送します。
3. カラー写真2枚 (縦4cm×横3cm、入学志願票および写真票に貼付) ※裏面には、氏名を明記のこと。
入学手続の際に別途提出する学生証用の写真も、出願時と同じ写真を提出してください。
4. 入学検定料の「収納証明書」
コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの支払いの際に発行される「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」を、貼付用紙 (本学所定用紙) に貼り付け提出してください。
5. (博士前期課程に出願の場合) 出身大学の ①卒業(見込)証明書* ②成績証明書*
* (本学出身者の場合は学務部教務課で代理発行する為、提出は不要です。)
・証明書原本を提出してください。(コピー不可)
・出身大学に編入学した者や単位認定を受けた者は、以前の大学、短期大学の卒業証明書および成績証明書も提出してください。
・改姓等により、証明書記載氏名が現在の氏名と異なる場合は、志願者にかかわる証明書として確認

- できませんので、氏名変更(改姓等)の事実が確認できる証明書(戸籍抄本等)を提出してください。
- ・ 証明書が日本語または英語でない場合は、公的機関による証明を受けた日本語または英語の訳文を付してください。
 - ・ 出身大学の卒業(見込)証明書及び成績証明、学位取得証明書の提出の代わりにCHSI発行の認証書の提出も認めます。出願書類には印刷した認証書を同封し、かつ電子データの認証書が出願期間内にCHSIから教育人間科学研究科メールアドレス(in-kyouiku@aoyamagakuin.jp)に電子メールで直送されるよう、手配してください。印刷した認証書のみの提出や、志願者等による電子メールの転送は出願書類として認められません。
6. 大学改革支援・学位授与機構に学位を申請して学位を取得した者または学位取得見込みの者は、次の証明書を提出してください。(該当者のみ)
出身校の修了(見込)証明書、成績証明書、学位取得証明書または学位申請にかかわる証明書。
 7. 外国籍者は、以下①②のいずれかを提出してください。
①住民票(在留資格、在留期間等、在留期間等の満了の日、在留カード等の番号が記載されたもの)
②パスポート(顔写真ページ)のコピーおよび在留カード(表裏)のコピー
*日本に在住していない者については、パスポート(顔写真ページ)のコピーのみ提出で可。
その際に、パスポートのコピーに被らない場所に「日本に在住していない」と記載してください。
 8. 研究計画書 ※志願者自身が作成した文章で提出してください。
人工知能等が自動作成した文章や他者が作成した文章での提出を禁じます。
臨床心理学専攻 博士前期課程<社会人入試・一般入試・学内進学者選抜試験>：本学所定用紙<様式③>を使用してください。
 9. 卒業論文(心理学専攻志願者で分野を問わず、卒業論文を書いた者のみ提出)*
*返却しないので、必ずコピーしたものを同封してください。ただし、本学所定の封筒に入らない場合は、卒業論文のみ別送してください。(本学教育学科および心理学科出身者は、提出不要)
 10. 外国人留学生は、以下①②のいずれかを提出すること。ただし、日本の大学・大学院を卒業/修了(見込)の者は提出不要。
①日本国際教育支援協会及び国際交流基金が実施している「日本語能力試験」の「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」の原本。2025年7月以降実施分のみ有効。
※①の返却を希望する方は、レターパックライト(送付先記入)を同封してください。
②日本学生支援機構が実施している「日本留学試験(日本語)」の「成績確認書」(コピー可)。
2025年6月以降実施分のみ有効。

個人情報の取扱いについて

出願に際してお知らせいただいた住所、氏名、電話番号、生年月日等の個人情報は、①出願受付、②入学試験実施、③合格発表、④入学手続とこれに付随する業務を行うために利用します。

入学検定料

35,000円

1. 支払方法
コンビニエンスストアまたはクレジットカードでのお支払いください。
8ページ「コンビニ端末での入学検定料支払方法」または9ページ「クレジットカードでの検定料支払方法」を参照のうえ、お支払ください。
2. 収納証明書は、所定の用紙に貼付し、出願書類に同封してください。
なお、金額が訂正されたものや収納印がないものは無効です。
3. 出願受付後、入学検定料は返還いたしません。振り込んだが出願しなかった場合は、学務部教務課にて返金の手続きをしてください。

コンビニ端末での入学検定料支払方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 お申込み

セブンイレブン
マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>

最寄りの「セブンイレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育

↓

入学検定料等支払

LAWSON
Loppi

<https://www.lawson.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

↓

学び・教育・各種検定試験

↓

大学・短大・専門、
小・中・高校等お支払い

お申込みの大学 をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**

②お支払い後、チケットとレシートのお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「払込受領証」(Loppi)。

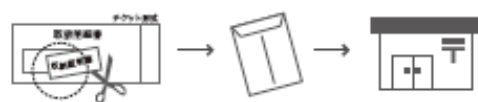


払込手数料 (税込)	入学検定料が5万円未満	605円
	入学検定料が5万円以上	825円

*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

3 出願

「取扱明細書」または「払込受領証」の
「収納証明書」部分を切り取り、
入試要項などの指示に従って郵送してください。



貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある紙は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

【操作などのお問い合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> ※コンビニ店舗ではお答えできません。

クレジットカードでの入学検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!

クレジットカードを利用して入学検定料のお支払いが可能です。 VISA  JCB   DC  NICO 

インターネット申込・クレジットカード決済



PCで下記にアクセス

<https://e-apply.jp/e/gs-aoyama>

1. トップページ	「申し込む」ボタンをクリック
2. 研究科選択	研究科を選択してください。
3. 入試選択	受験される入試を選択して「次へ」ボタンをクリック
4. 留意事項	留意事項の内容を確認・同意して「次へ」ボタンをクリック
5. 基本情報入力	申込者本人の基本情報を入力し「個人情報取扱方法」に同意し「次へ」ボタンをクリック
6. 申込内容確認	申込された情報を確認し、問題なければ「申込みする」ボタンをクリック
7. 受付番号確認	受付番号（12桁）を控え、「引き続き支払う」ボタンをクリック（登録されたメールアドレスにも通知されます。）
8. クレジットカード情報入力	支払に利用するクレジットカード番号（16桁）等必要な情報を入力し、「次へ」をクリック *お支払いされるカードの名義人は申込者本人以外でも構いません。
9. 決済完了	完了後に通知されるメールアドレスに記載のURLよりログインいただき、取扱明細書をプリントアウトしてください。 *メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号（12桁）」「登録時のメールアドレス」「生年月日」でログインしてください。

印刷した「収納証明書」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



必要書類



郵便局から
郵送にて出願。



【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は23:59までにカード決済を完了させてください。
- 入学検定料の他に、払込手数料（税込）が別途かかります。
払込手数料（税込）：30,000円未満…手数料 664円、30,000円以上50,000円未満…手数料 1,041円、50,000円…手数料 1,163円
- クレジットカードの名義人は、申込者本人以外でも構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。

- メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号（12桁）」「登録時のメールアドレス」「生年月日」でログインしてください。
- 一度お支払された入学検定料は、出願後は一切返金できませんのでご注意ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

「クレジットカードでの入学検定料納入」について不明点がある場合は、トップページの「はじめに」から「お問い合わせ先」をご覧ください。
「学び・教育サポートセンター」までお問い合わせください。

願書受付期間（全て受付期間最終日消印有効です。期限を過ぎた消印のものは、受理しません。
海外からの郵送の場合は出願期間内に到着するようにお送りください。）

課 程	専 攻	入試種別	願書受付期間
博士前期	心理学 (臨床心理学コース)	社会人 一般(秋) 学内進学者(秋)	2026年8月20日（木）～ 25日（火）
		一般(春) 学内進学者(春)	2027年1月8日（金）～ 12日（火）

試験についての注意事項

1. 試験は青山キャンパスで実施します。
2. 試験場は試験当日「大学院掲示板」（17号館2階）に掲示します。
3. 受験者は、試験開始10分前までに試験場に入室してください。筆記試験については、受験番号ラベルにより受験者ごとの着席位置が指定されていますので、自分の受験番号ラベルが貼付された位置に着席してください。
4. 試験開始から20分以上遅刻した者は、受験することができません。
5. 筆記試験は、出願した専攻ごとに課されたすべての試験科目を受験してください。1科目でも欠席した場合は棄権とみなします。また、筆記試験を受験していない者は、面接（口述試験）を受験することはできません。
6. 辞書の使用はいずれの試験科目についても許可していません。
7. 試験当日は、受験票を必ずお持ちください。万一紛失した場合は、再発行しますので、学務部教務課教育人間科学部大学院事務へご連絡(試験当日は来室して)ください。

試験実施日

課 程	専 攻	入試種別	試験実施日
博士前期	心理学 (臨床心理学コース)	社会人 一般(秋) 学内進学者(秋)	第1次 2026年9月26日（土） 第2次 2026年10月3日（土）※
		一般(春) 学内進学者(春)	第1次 2027年2月20日（土） 第2次 2027年2月27日（土）※

※なお、第2次試験は、第1次試験合格者のみ受験することができます。

合格発表についての注意事項

1. 第1次合格発表及び第2次合格発表は、大学ホームページおよび郵送により行います。郵送による合格発表は、合格発表日に速達郵便にて合格者受験番号一覧を合格者に発送することにより行います(不合格者への郵送での通知はございません)。
2. 第2次合格者には、合格者受験番号一覧とともに入学手続書類を郵送します。

合格発表日

課 程	専 攻	入試種別	合格発表日
博士前期	心理学 (臨床心理学コース)	社会人 一般(秋) 学内進学者(秋)	第1次 2026年9月30日（水）16：00 第2次 2026年10月9日（金）13：00
		一般(春) 学内進学者(春)	第1次 2027年2月24日（水）16：00 第2次 2027年3月1日（月）13：00

入学手続 入学手続はすべて郵送となります。（締切日消印有効）

入学手続締切日：社会人・一般入試・学内進学者（秋季実施分）

第1次入学手続締切日 **2026年11月13日（金）**

第2次入学手続締切日 **2027年3月5日（金）**

一般入試・学内進学者（春季実施分）

入学手続締切日 **2027年3月5日（金）**

1. 合格者には、入学手続書類を郵送します。入学手続要項にしたがい、入学手続締切日までに手続を完了してください。
2. 入学手続（秋季入試）は、第1次入学手続と第2次入学手続に分かれています。第1次・第2次それぞれ所定の入学手続納入金を納め、それぞれ必要な書類を提出してください。第1次入学手続、第2次入学手続ともに完了しない場合、合格は無効となりますのでご注意ください。
3. 入学手続の詳細は合格者に送付される入学手続要項を参照してください。

「入学辞退願」の提出について

本大学院の入学手続を完了した後、やむを得ぬ事情により入学を辞退することになった場合、「入学辞退願」が2027年 3月31日（水）（消印有効）のものは、入学金を除く納入金を返還します。

- (1) 「入学辞退願」用紙の請求先・提出先

青山学院大学 学務部教務課教育人間科学部大学院事務

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25 電話 03-3409-9528

- (2) 「入学辞退願」等の提出について

提出締切日時： 2027年 3月31日（水） 17時（窓口閉室時間）

郵送の場合は簡易書留郵便で上記日時消印有効

提出書類： ①「入学辞退願」（本学所定用紙）、②「振込金受取書」

青山学院大学大学院特別給付奨学金

青山学院大学大学院特別給付奨学金は、青山学院大学大学院の活性化に向けて、大学院進学における金銭的負担の軽減を図り、本学学部生の本大学院への進学を促進することを目的とする給付奨学金の制度です。
※貸与奨学金ではありません。

奨学給付額

授業料年額の2分の1に相当する額が上限となる。

※給付額は入学後に決定されます（給付対象学生数により減額の場合あり）。

給付方法

入学時は入学手続き時に所定の学費等を納付し、入学後に奨学金を給付します。なお、1年次後期以降は原則として学費請求時において、奨学金相当額の納付を免除することにより給付予定。

給付期間

入学後2年間（休学による給付休止期間を含む）

申請期間

出願受付期間に準ずる

申請方法

入学志願票の所定欄に記入

採用者の決定

選考結果の通知 入学試験合格発表時

申請資格

奨学金の給付を受けることができる学生は、本大学院研究科（理工学研究科を除く）への学内進学を希望する青山学院大学の学部に進学している者で、次に規定する全てを満たすものとする。

（1） 本大学院研究科の次のいずれかの課程への学内進学に係る被推薦資格を有する者であること。

イ 博士前期課程又は修士課程（修業年限が2年のものに限る。）

ロ 一貫制博士課程

ハ 専門職学位課程（修業年限が2年のものに限る。）

（2） 2026年4月1日において、当該基準日の属する年度の末日までに卒業する見込みが立つ者であること。

（3） 2026年5月1日において、在学する学科における成績上位者15パーセント以内の者であること。

※ 上記「申請資格（3）」の成績要件を満たしているか事前に確認を希望する場合は、出願期間前に余裕をもって、所属学部の教務課（学務課）窓口までお問い合わせください。

※ 本学及び学校法人青山学院における他の奨学金の給付を重複して受けることはできません。

※ 詳細は「青山学院大学大学院特別給付奨学金規則」に規定

学費等

2027 年度入学者学費等一覧（大学ウェブサイト）

以下大学ウェブサイト内、「大学院、専門職大学院入学者学費」を参照してください。

大学ウェブサイト：https://www.aoyama.ac.jp/life/expenses/battel_postgraduate/



入学手続納入金

（単位：円）

	心理学	備 考
入学手続納入金合計	620,000	（後期分学費等含まず）
初年度納入金合計	950,000	後期分学費等 330,000 円を含む

（消費税は課税されません）

社会人・一般入試・学内進学者選抜試験（秋季実施分）

第1次 入学手続納入金	290,000	入学申込金のみ （第1次入学手続時に納入された入学申込金は、 第2次入学手続時に入学金に振り替えます。）
第2次 入学手続納入金 （学費等分割納入方式）	330,000	通常の納入方式 （入学時納入金合計から第1次入学手続納入金を差し引いた金額） （後期分学費等は、入学後に納入）
第2次 入学手続納入金 （学費等一括納入方式）	660,000	後期分学費等を併せて納入希望の場合 （初年度納入金合計から第1次入学手続納入金を差し引いた金額）

社会人・一般入試・学内進学者選抜試験（春季実施分）

入学手続納入金 （学費等分割納入方式）	620,000	通常の納入方式 （後期分学費等は、入学後に納入）
入学手続納入金 （学費等一括納入方式）	950,000	前後期分学費等を一括で納入希望の場合

注）校友会費は、退学・除籍の場合には、校友会本部事務局に申請し返還を受けることができます。

備 考

1. 入学手続時に後期分授業料を併せて納入することもできます。（通常は入学後に納入）
2. 今後、経済情勢に応じ、学費等の改定が行われた場合は、在学生にも改定後の学費等を適用することがあります。
3. 本学の学部及び大学院博士前期(修士)課程出身者については次のとおりとします。

①入学金

本学の学部卒業（見込を含む）者ならびに本学大学院博士前期(修士)課程修了（見込を含む）者は、全額免除

②校友会費

本学出身者は納入不要(学部卒業（見込を含む）者および大学院修了（見込を含む）者は、年度にかかわらず)

4. 授業料後払い制度について

国による大学院修士段階における「授業料後払い制度」の利用を希望する方は、以下URLまたはQRコードより、申請要項を確認の上、**出願期間中に必要な手続きを行ってください。**

※外国人留学生（在留資格が「留学」の方）は申請対象外です。

【申請要項URL】

https://www.aoyama.ac.jp/wp-content/uploads/2026/03/af_syougakukin_atobalai2027.pdf

【申請要項QRコード】



不正行為について

○出願書類に関する不正行為について

出願書類への虚偽の記載や証明書等の偽造が確認された場合は、当該年度の入学試験の結果を無効とします。また、入学後であってもこれらの不正が確認された場合には、遡って入学を取り消すことがあります。この場合、提出された書類およびそれまでに納入された費用については返還しません。また、警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

○試験時の不正行為について

試験時間中に下記に例示する行為を行った場合、または試験終了後に当該行為が確認された場合（入学後に判明した場合を含む）には、不正行為とみなされることがあります。また、試験時間中であっても、メガネ、マスク等の身に着けている物の確認を求める場合があります。

不正行為が確認された場合には、当該年度の入学試験の結果を無効とし、入学を取り消すことがあります（入学後においても遡って適用する場合を含む）。この場合、提出された書類およびそれまでに納入された費用は一切返還いたしません。不正行為に対しては厳正に対処するとともに、警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

（筆記試験）

- ・ カンニング（カンニングペーパー、参考書、他の受験者の答案を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること。
- ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、イヤホン、携帯音楽プレーヤー等を身に付けていること。
- ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、時計、携帯音楽プレーヤー等の音（着信、アラーム、振動音等）を鳴らすこと。
- ・ 試験時間中に、問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ・ 試験時間中に、答えを教える等の他の受験者を利するような行為をすること。
- ・ 試験時間中に、使用が認められている用具以外を机に置くこと。
- ・ 試験開始の合図、もしくは試験監督者の試験開始の指示の前に問題冊子を開き、解答を始めること。
- ・ 試験終了の合図、もしくは試験監督者の試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けていたりすること。
- ・ 試験終了後、解答用紙を提出しないこと。

（面接試験・口述試験）

- ・ 試験中に他の者と連絡をとりあうこと。
- ・ 試験の録画・録音をすること、およびそれらを SNS 等のインターネット上へ掲載すること。
- ・ 試験終了後に、これから当該試験を受験する他の受験者に試験の内容を伝えること。また、試験の内容を SNS 等のインターネット上へ掲載すること。

（共通）

- ・ 試験室において、試験監督者、係員等の指示に従わないこと。
- ・ 試験室において、他の受験者の迷惑となる行為および試験の運営の妨害となるような行為をすること。
- ・ 志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること。
- ・ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

博士前期課程 心理学専攻 〔臨床心理学コース〕

教 員 組 織

(2027年度予定)

◎教員組織は2027年度予定のものです。

◎【臨床心理学コース】では、2018年度より、公認心理師となるために必要な科目として文部科学省令・厚生労働省令で定める科目（省令で定める科目）を設置しています。

◎経過措置Eルート（附則第2条第1項第3号及び第4号）にて公認心理師試験受験資格を取得するには、以下の条件を満たす必要があります。

- ・入学希望者は、公認心理師法の施行日（2017年9月15日）以前に大学に入学していた場合、当該大学において、文部科学省令・厚生労働省令で定める、公認心理師となるために必要な科目を履修していること
- ・公認心理師法の施行日（2017年9月15日）以降に大学院入学後、大学院における「省令で定める科目」を履修すること

大学で必要な科目の履修を終えていなければ、大学院だけでは経過措置 E ルートの受験資格は得られませんので、ご注意ください。

なお、大学における「省令で定める科目」の履修状況については、出身大学へお問い合わせ下さい。

◎臨床心理士資格を持たない教員が研究指導教員となる場合には、別途、臨床心理士資格を持つ教員を臨床指導教員としてつける必要があります。

氏名の前の○印は研究指導（Ⅰ～Ⅳ）担当教員 ＊は研究指導担当教員のうち、臨床心理士資格を有する者

職 名	氏 名	研究指導教員の 専門分野	担当科目
	○ ＊ 上田 琢哉	臨床心理学、教育相談学	臨床心理面接特論Ⅱ、臨床心理基礎実習Ⅰ・Ⅱ、臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）・Ⅱ、心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ、
	○ ＊ 小俣 和義	臨床心理学、心理療法、心理査定学	臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）・Ⅱ、臨床心理基礎実習Ⅰ・Ⅱ、臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）・Ⅱ、心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ、
	○ 坂上 裕子	発達心理学、臨床発達心理学	心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ、生涯発達心理学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 繁樹 江里	社会心理学、組織心理学、対人コミュニケーション	心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ、社会心理学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 松田いづみ	心理生理学、認知神経科学、犯罪心理学	心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ、生理心理学演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 薬師神玲子	実験心理学、認知心理学、認知科学	心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ、認知心理学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
准教授	○ ＊ 沖潮満里子	臨床心理学、質的研究法	臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）、臨床心理基礎実習Ⅰ・Ⅱ、臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）・Ⅱ、心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ、質的研究法演習
	○ 荻原 祐二	社会心理学、文化心理学、社会文化変容	心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ、心理測定統計論Ⅰ・Ⅱ
	○ ＊ 田中 里実	臨床心理学、臨床発達心理学、福祉心理学	心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ、臨床心理基礎実習Ⅰ・Ⅱ、臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）・Ⅱ、臨床心理地域援助特論A（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）、障害者（児）心理学演習（福祉分野に関する理論と支援の展開）
	○ 森脇 愛子	発達心理学、臨床発達心理学	心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ、発達臨床心理学研究A・B、同演習A・B心の健康教育に関する理論と実践
特任准教授		畠中 智恵	臨床心理学特論Ⅰ・Ⅱ、臨床心理基礎実習Ⅰ・Ⅱ、臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）・Ⅱ、心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ、
助 教		長 大介	心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ
		横山 舜	心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ、臨床心理基礎実習Ⅰ・Ⅱ、臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）・Ⅱ

兼任准教授		武田 美亜		応用社会心理学演習B
兼任講師		天井 響子		教育心理学演習A・B
		池田 政俊		精神医学演習B
		岩田 淳子		学校臨床心理学演習A（教育分野に関する理論と支援の展開）・B
		太田さつき		応用社会心理学演習A
		柏 淳		精神医学演習A（保健医療分野に関する理論と支援の展開）
		川瀬里加子		老年心理学演習
		慶野 遥香		臨床心理実務倫理演習A・B
		駒屋 雄高		臨床心理実習 I（心理実践実習）
		鈴木 潤也		臨床心理実習 I（心理実践実習）、人間関係学特論A（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）、グループ・アプローチ特論B
		中鉢 路子		心理療法演習A
		富岡 大		精神薬理学（保健医療分野に関する理論と支援の展開）
		仁木 千晴		神経心理学特論A（保健医療分野に関する理論と支援の展開）
		横田賀英子		犯罪心理学特論A（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）

〇〇研究Ⅰ・Ⅱと〇〇演習Ⅰ・Ⅱは、隔年開講を原則とする。

授業時間は、9：00 ～ 20：00 までの間に6コマ配置される。（昼夜開講制）

兼任准教授ならびに兼任講師は2026年度実績。授業科目のみ担当。

博士前期課程
心理学専攻〔臨床心理学コース〕〈社会人入試〉

出願資格

出願時点で心理学関連の科目（統計法に関する科目および研究法に関する科目を必ず含む）について 32 単位以上修得済みの者で、次のいずれかに該当し、該当時より 2 年以上経過した者。

心理学関連の科目については、出願前に余裕をもって問い合わせること。科目名称の中に「心理学」もしくは「心理」が含まれているものは、心理学関連の科目とみなすが、その他の科目については、提出されたシラバスの内容を以て、心理学関連科目に該当するか否かを判断する。

1. 大学を卒業した者。
2. 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者。
3. 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者。
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者。
5. 日本において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。
6. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたものによる評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月までに授与される見込みの者。
7. 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
8. 文部科学大臣の指定した者
9. 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時に 22 歳に達したもの。

（注意1）：教員のメールアドレスは、問い合わせがあっても、原則として案内はしていない。また、出願にあたって、指導希望教員に相談したり承諾を得たりする必要はない。

（注意2）：上記9.により出願を希望する者は、学務部教務課教育人間科学部大学院事務に問い合わせのうえ、個別の入学資格審査申請に必要な書類を、2026年8月14日（金）までに提出すること。

（注意3）：出願時に必ずコースを記載すること。**公認心理師・臨床心理士の資格取得を目指す者は、〔臨床心理学コース〕を選択**すること。なお、出願後のコースの変更は一切認めない。

（注意4）：研究計画書は出願時に提出すること（本学所定用紙<様式③>を使用）。様式③について、各項目の行数は任意に変更して構わないが、全体の分量は1頁以内に収めること。

研究計画書は合否判定の参考資料として評価を行う。なお、研究計画書の内容は、入学後、承認を受ければ変更可能である。

（注意5）：社会人入試で入学した者は、修士論文免除の特例を選択することができるが、その場合は、それに代わる課題研究論文を提出しなければならない。

試験科目・試験時間割

筆記試験 論述（臨床心理）（臨床心理学、心理学（統計を含む）に関する知識および論述）
論文読解（臨床心理学または心理学関連の英語論文の読解）
（注）辞書の使用は認めない。

面 接

第1次試験			第2次試験		
2026年9月26日(土)	9:30 ～ 11:30	論述（臨床心理）	2026年10月3日(土)	13:00 ～	面 接
	12:30 ～ 14:00	論文読解			

（注意）第1次試験の合格発表は9月30日(水) 16:00に大学ホームページにて行うとともに、
受験者に合格者受験番号一覧を郵送することにより行う。
なお、**第2次試験は第1次試験合格者のみ受験することができる。**

2027年度入試における変更点

2027年度入試では、2026年度入試から試験科目等を以下のとおり変更する。

- (1) 「専門A」を廃止し、出願時に「研究計画書」の提出を求める。
- (2) 「専門C」を「論述（臨床心理）」に変更する。

「論述（臨床心理）」では、臨床心理学・心理学（統計を含む）に関する専門用語や基礎的知識の理解を問う内容を含みつつ、それらをふまえて受験者自身が論理的に考察し、記述する力を評価する出題を行う。

博士前期課程
心理学専攻〔臨床心理学コース〕〈一般入試(秋)・(春)〉共通

出願資格

出願時点で心理学関連の科目（統計法に関する科目および研究法に関する科目を必ず含む）について 32 単位以上修得済みの者で、次のいずれかに該当する者。

なお、心理学関連の科目については、出願前に余裕をもって問い合わせること。科目名称の中に「心理学」もしくは「心理」が含まれているものは、心理学関連の科目とみなす。その他の科目については、提出されたシラバスの内容を以て、心理学関連科目に該当するか否かを判断する。

また、本学文学部心理学科もしくは教育人間科学部心理学科を 2026 年 3 月までに卒業した者は、心理学関連科目 32 単位以上を修得済みとみなす。

1. 大学を卒業した者及び 2027 年 3 月までに卒業見込みの者。ただし、本学教育人間科学部心理学科を 2027 年 3 月までに卒業見込みの者は、一般入試ではなく、学内進学者選抜試験に出願すること。
2. 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び 2027 年 3 月までに取得見込みの者。
3. 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月までに修了見込みの者。
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月までに修了見込みの者。
5. 日本において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2027 年 3 月までに修了見込みの者。
6. 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたものによる評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が 3 年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月までに授与される見込みの者。
7. 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2027 年 3 月までに修了見込みの者。
8. 文部科学大臣の指定した者。
9. 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に 22 歳に達したもの。

（注意1）：教員のメールアドレスは、問い合わせがあっても、原則として案内はしていない。また、出願にあたって、指導希望教員に相談したり承諾を得たりする必要はない。

（注意2）：上記9.により出願を希望する者は、学務部教務課教育人間科学部大学院事務に問い合わせのうえ、個別の入学資格審査申請に必要な書類を入試(秋)の場合は2026年8月14日(金)、入試(春)の場合は、2026年12月4日(金)までに提出すること。

（注意3）：出願時に必ずコースを記載すること。**公認心理師・臨床心理士の資格取得を目指す者は、〔臨床心理学コース〕を選択**すること。なお、出願後のコースの変更は一切認めない。

（注意4）：研究計画書は出願時に提出すること（本学所定用紙<様式③>を使用）。様式③について、各項目の行数は任意に変更して構わないが、全体の分量は1頁以内に収めること。研究計画書は合否判定の参考資料として評価を行う。なお、研究計画書の内容は、入学後、承認を受ければ変更可能である。

試験科目・試験時間割

筆記試験 論述（臨床心理）（臨床心理学、心理学（統計を含む）に関する知識および論述）
論文読解（臨床心理学または心理学関連の英語論文の読解）
（注）辞書の使用は認めない。

面接

秋季実施

第1次試験			第2次試験		
2026年9月26日(土)	9:30 ～ 11:30	論述（臨床心理）	2026年10月3日(土)	13:30 ～	面接
	12:30 ～ 14:00	論文読解			

（注意）第1次試験の合格発表は9月30日(水) 16:00に大学ホームページにて行うとともに、合格者に合格者受験番号一覧を郵送することにより行う。
なお、**第2次試験は第1次試験合格者のみ受験することができる。**

春季実施

第1次試験			第2次試験		
2027年2月20日(土)	9:30 ～ 11:30	論述（臨床心理）	2027年2月27日(土)	13:30 ～	面接
	12:30 ～ 14:00	論文読解			

（注意）第1次試験の合格発表は2027年2月24日(水) 16:00に大学ホームページにて行うとともに、合格者に合格者受験番号一覧を郵送することにより行う。
なお、**第2次試験は第1次試験合格者のみ受験することができる。**

2027年度入試における変更点

2027年度入試では、2026年度入試から試験科目等を以下のとおり変更する。

- (1) 「専門A」を廃止し、出願時に「研究計画書」の提出を求める。
- (2) 「専門C」を「論述（臨床心理）」に変更する。

「論述（臨床心理）」では、臨床心理学・心理学（統計を含む）に関する専門用語や基礎的知識の理解を問う内容を含みつつ、それらをふまえて受験者自身が論理的に考察し、記述する力を評価する出題を行う。

博士前期課程
心理学専攻〔臨床心理学コース〕〈学内進学者選抜試験(秋)・(春)〉共通

出願資格

本学教育人間科学部心理学科を2027年3月までに卒業見込みの者。

- (注意1) : 出願時に必ずコースを記載すること。なお、**公認心理師・臨床心理士の資格取得を目指す者は、分冊版の〔臨床心理学コース〕を選択**すること。出願後のコースの変更は一切認めない。
- (注意2) : 学内進学の出願者のうち、「青山学院大学大学院特別給付奨学金」の申請資格を満たす者は、「青山学院大学大学院特別給付奨学金」に申請することができる。申請資格にある成績要件を満たしているかについて事前に確認を希望する場合は、出願期間前に余裕をもって、教育人間科学部の教務課窓口まで問い合わせること。
- (注意3) : 研究計画書は出願時に提出すること（本学所定用紙<様式③>を使用）。様式③について、各項目の行数は任意に変更して構わないが、全体の分量は1頁以内に収めること。
研究計画書は合否判定の参考資料として評価を行う。なお、研究計画書の内容は、入学後、承認を受ければ変更可能である。

試験科目・試験時間割

筆記試験 論述（臨床心理）（臨床心理学、心理学（統計を含む）に関する知識および論述）
論文読解（心理学関連の英語論文の読解）
（注）辞書の使用は認めない。

面接

秋季実施

第1次試験			第2次試験		
2026年9月26日(土)	9:30 ～ 11:30	論述（臨床心理）	2026年10月3日(土)	13:00 ～	面接
	12:30 ～ 14:00	論文読解			

- (注意) 第1次試験の合格発表は9月30日(水) 16:00に大学ホームページにて行うとともに、合格者に合格者受験番号一覧を郵送することにより行う。
なお、**第2次試験は第1次試験合格者のみ受験することができる。**

春季実施

第1次試験			第2次試験		
2027年2月20日(土)	9:30 ～ 11:30	論述（臨床心理）	2027年2月27日(土)	13:30 ～	面接
	12:30 ～ 14:00	論文読解			

- (注意) 第1次試験の合格発表は2027年2月24日(水) 16:00に大学ホームページにて行うとともに、合格者に合格者受験番号一覧を郵送することにより行う。
なお、**第2次試験は第1次試験合格者のみ受験することができる。**

2027年度入試における変更点

2027年度入試では、2026年度入試から試験科目等を以下のとおり変更する。

- (1) 「専門A」を廃止し、出願時に「研究計画書」の提出を求める。
- (2) 「専門C」を「論述（臨床心理）」に変更する。

「論述（臨床心理）」では、臨床心理学・心理学（統計を含む）に関する専門用語や基礎的知識の理解を問う内容を含みつつ、それらをふまえて受験者自身が論理的に考察し、記述する力を評価する出題を行う。

地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World
【青山学院スクール・モットー】

青山学院大学大学院
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25
電話：03（3409）9528（学務部教務課教育人間科学部大学院事務直通）